

## 日本語指導 ワークショップ

### 1 ねらい

○児童生徒の発達段階と日本語力に応じた「日本語指導略案」を作成する。

### 2 グループ及び課題

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A	初期指導	小学生 中学年	ひろこさんのたのしいにほんご 24課「ひろこさんは あるいて がっこうへ いきます」
B	中級指導	小学生 高学年	日本語を学ぼう 3 5課「ちぎって 合わせて」
C	JSL 国語科 説明的文章	小学生 低学年	光村図書 2年 「たんぼぼの ちえ」
D	JSL 国語科 物語的文章	小学校 中学年	教育出版 3年 「わすれられない おくりもの」
E	JSL 国語科 作文	小学生 低学年	教育出版 2年 「絵を見てお話を書こう」
F	JSL 算数科 数と計算	小学生 中学年	啓林館 4年 「小数」
G	初期指導	中学生	こどものにほんご 13課「なつ休みのけいかく」
H	中級	中学生	Japanese for young people 22課「友だちにぼうしをもらいました」
I	JSL 国語科 説明的文章	中学生	教育出版 1年 「電子レンジの発想」

### 3 ワークショップの進め方

時間	活動内容
11:10～11:45	1 ワークショップの進め方についての説明を聞く。 ・ねらい ・グループ分け ・課題 ・時間配分 ・指導略案の作成方法及び留意点 ・発表方法 ・パソコン
13:00～14:45	1 グループに分かれて、課題についての指導略案を作成する。 (パソコンの「指導略案の形式」に書き入れる) 2 発表の準備をする。
14:45～16:15	1 グループ発表をする。 発表時間4分 (講評)

### 4 指導略案作成上の留意点

- (1) 指導時間は小学校45分、中学校50分とする。
- (2) なるべく、4技能(聞く・話す・読む・書く)を入れる。
- (3) 過程の欄の( )に時配を入れる。
- (4) 必要に応じて、日本語力に合わせて「リライト教材」を作成する。
- (5) 必要に応じて、補助資料として「翻訳教材」を活用する。
- (6) 必要に応じて、補助者との連携を図り、補助内容を明記する。
- (7) より分かりやすく、そして楽しく指導するための「教材・教具」を作成し、提示の仕方等工夫する。
- (8) 先行学習としての指導略案を作成してもよい。

### 5 準備物

- (1) パソコン・・・・・・・・・・・・・・9台
- (2) リムーバルディスク・・・・・・・・・・13本
- (3) プロジェクター
- (4) OHC
- (5) 紙類、文具など

### 日本語指導略案 1

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A1	初期指導	小学校 中学年	ひろこさんのたのしいにほんご 24課「ひろこさんは あるいて がっこうへ いきます」

#### 1 目標

○交通手段の助詞「で」の使い方について理解し、表現できるようにする。

#### 2 展開

過程	学習活動	教師の支援 (○)	資料・教具
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○始めのあいさつ</li> <li>○カレンダーワーク</li> <li>○口の体操 14 「だ行」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～で」が発音しやすいようにする。</li> </ul> </li> <li>○前時「～へ」の使い方を復習する。</li> <li>○きのう行った場所を思い出す。</li> <li>○学習のめあてをつかむ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     なにで がっこうへ いきますか。                      じてんしゃで いきます。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本語で言えたことをほめる。</li> <li>○楽しく続けられるようリズムをとりながら励ます。</li> <li>○日本語での答えが難しいときは、選択肢を用意する。</li> </ul>	井上恵子先生作 「くちのたいそう」
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乗り物の名前を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス・電車・自転車・自動車・飛行機</li> <li>・学校・病院・公園・コンビニ・デパート・スーパー</li> </ul> </li> <li>○文型の導入 「～は ○○で □□へ 行きます。」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物、乗り物、場所のカードを変えて口頭練習する。</li> </ul> </li> <li>○絵カードを使いながら新出の基本文型を練習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「だれは なんて どこへ」行きます。</li> <li>・徒歩の場合は「歩いて」を</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵カードを使って楽しい気持ちを盛り上げる。</li> <li>○「自転車」などは発音が難しいので、さりげなく何度も正しい音を聞かせるようにする。ここでは無理強いしない。</li> <li>○十分に口頭練習を行って、次の書く活動につなげる。</li> </ul>	絵カード ・人物 ・乗り物 ・場所

	<p>使うことを確認する。 「ひろこさんは あるいて がっこうへ いきます。」</p> <p>○ワークシートで、「～で」の 使い方を確認する。 ・前半記入し、後半は家庭学習 ・「～で」を使って文づくり</p>	<p>○答えの日本語がわか らない場合には、 絵を描かせて該当す る日本語を教える。</p>	<p>ワークシー ト</p>
<p>終末 (5)</p>	<p>○本時のまとめをする。 ・作った文を発表する。 ・リスニングクイズ (間違い探し) ☆絵と文があっているか。 ☆「あるいで」などの間違い を聞き取れるか。</p> <p>○感想の発表 ・学習内容がよくわかったか。 ・楽しく学習できたか。</p> <p>○評価 ・「～で」を使って文を作れた ことをほめる。</p> <p>○次の学習の予告をする。 ・ワークシートの後半を家庭 学習課題とし、次の時間に 確認することを伝える。</p> <p>○終わりのあいさつ</p>	<p>○正しい発音で読め るよう支援する。</p> <p>○正しく聞き取れた ことをほめる。</p> <p>○次の学習が楽しみ になるよう声かけ をする。</p>	



## 日本語指導略案 2

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A2	初期指導	小学校 中学年	ひろこさんのたのしいにほんご 24 課「ひろこさんは あるいて がっこうへ いきます。」 くちのたいそう

### 1 目標

○交通手段の助詞「で」の使い方について理解し、表現できるようにする。

### 2 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ</li> <li>○カレンダーワーク</li> <li>○くちのたいそう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「〈15〉 ばびぶべぼ」を音読する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出単語「びょういん」の発音練習を踏まえ、音読練習をさせる。</li> </ul>	くちのたいそう
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○復習をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     23 課「きのう デパートへ 行きました。」                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～は～へ行きます。」</li> <li>・「～は～へ行きました。」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習課題をつかむ。</li> <li>・「～は～で～へ行きます。」</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">                     文型：なにで がっこうへ いきますか。 じてんしゃで いきます。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の確認 場所の単語／交通手段の単語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回使用の絵カードを用いて復習を行う。</li> </ul>	絵カード (人物) (場所) (交通手段)
終末 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のまとめを行う。</li> <li>・カルタ取りをし、取ったカードで文を作る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;">                     ○○さんは なにで がっこうへ いきますか。 あるいていきます。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○終わりのあいさつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取ったカードで本時の内容に沿った文を作成させる。</li> </ul>	

### 日本語指導略案3

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
A3	日本に来て、半年。ひらがなは読み書きできる。	小学校 3年生 2名	『ひろこさんのたのしいにほんご 1』

#### 1 目標

○「交通手段」「で」「行きます」の意味と正しい方を話すことができる。

#### 2 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カレンダーワーク</li> <li>○口の体操 ら行の音</li> <li>○前時の復習 ～へ行きます。</li> </ul>		カレンダー — 前時の資料
展開 (37)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習課題を知る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ひろこさんはあるいて がっこうへいきます。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本文を読む。 教師の後について読む。 一人ずつ自分で読む</li> <li>○絵カードで内容を確認する。 おとうさん・病院・自動車</li> <li>○絵カードの間に入る助詞「で」を入れて文型の練習をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ひろこさんのおとうさんは じどうしゃで びょういんへいきます。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「～は～で～へ行きます。」の文を作る。 お母さんは自転車でコンビニへ行きます。</li> <li>○作った文を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○姿勢やプリントの持ち方に気を付けさせる。</li> <li>○カードを黒板に貼らせる。</li> <li>○交通手段を使わないときには「て」、交通機関を使うときには「で」になることを指導する。</li> <li>○自分の家族に替えて、文を作らせる。</li> </ul>	プリント  絵カード
終末 (5)	○本時の文型を使ったワークシートを書く。		ワークシート

### 日本語指導略案 4

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
B	日常会話はできるが、在籍学級の学習には支援が必要。	小学校 5年生 グループ	日本語を学ぼう 3 5 ちぎって合わせて

#### 1 目標

○三角形の内角の和は $180^\circ$ であることをもとにして、多角形の内角の和を求めることができる。

○「～に～ができる」という言い方を使うことができる。

#### 2 展開 (1/2)

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	○日本語のウォーミングアップをする。 カレンダーワーク 「くちのたいそう」【42】	○既習事項が定着しているか確認する。	カレンダー 「くちのたいそう」カード
展開 (35)	○本時の学習内容を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">四角形の4つの角を足すと、何度になるでしょうか。</div> ○既習事項を復習する。 三角形・四角形・角・ $^\circ$ (度)  ○三角形の内角の和が $180^\circ$ であることを、作業を通して知る。 ・三角形の紙の3つの角に印をつける。 ・三角形をちぎり、3つの角を合わせ、台紙に貼り、 $180^\circ$ になることを知る。 ・別の三角形も同じように作業し、どんな三角形でも3つの角を合わせると $180^\circ$ になることを実感する。	○図形や掲示物を用意し、見せながら確認をする。  ○一度教師がやって見せる。 ○分度器を使わず、紙を「ちぎって」角を「合わせ」させる。	日本語を学ぼう 3  掲示物 (三角形・四角形・分度器など)  数種類の三角形の紙 (色画用紙) 台紙 (白画用紙)





### 日本語指導略案5

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
C	ひらがな・カタカナをようやく理解し終えた程度	小学校 2年生	『たんぽぽのちえ』 出典：「光村図書」

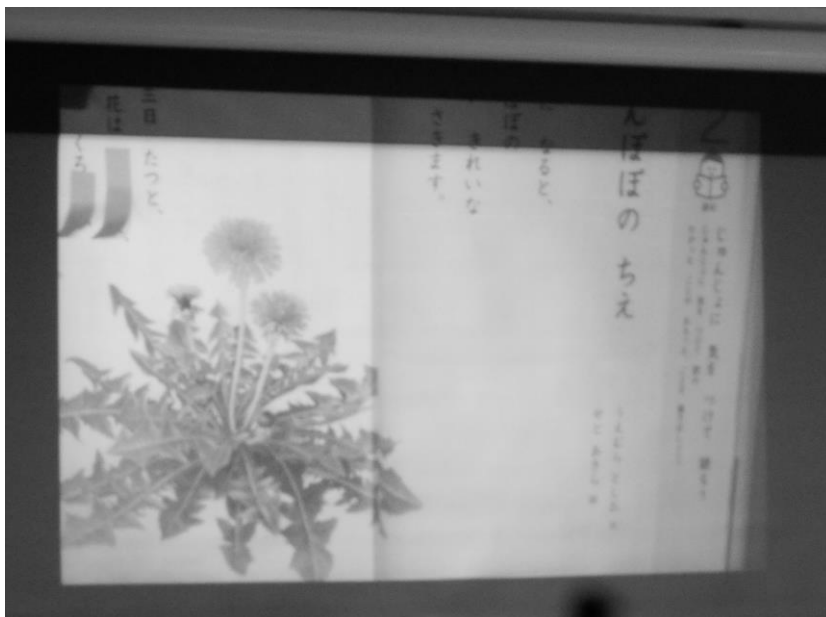
#### 1 目標

○時を表す言葉に気を付けて読むことができる。

#### 2 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○はじめの挨拶をする。</li> <li>○日付・曜日・天気・時刻を言う。</li> <li>○『あいうえおんがく』で口慣らしをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかっていることを言わせて、自信と意欲を高める。</li> </ul>	くちの たいそう (十一)
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の目標を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">                     ときを あらわす ことばに きをつけて よみましょう。                 </div> </li> <li>○段落1, 2の挿絵を見る。</li> <li>○デリート化（言葉を付箋紙などで隠すこと）した教科書の段落1, 2を読む。</li> <li>○付箋紙をはがし、再度音読する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挿絵から知っていることや想像したことなど自由に話させる。</li> <li>○児童と一緒に教科書を読みながら、必要に応じて教科書に読み仮名を書き込ませる。</li> <li>○意味を一つ一つ確認し、必要に応じて説明する。</li> <li>○言葉のまとまりを捉えて読めているかを確認しながら音読させる。</li> </ul>	デリート 化した 教科書

	<p>○ときをあらわすことばを知り、 変わっていく順序に気付かせる。 「春になると」「二、三日たつと」</p> <p>○漢字の確認をする。 「春」「黄色」「花」「二、三日」「色」</p>	<p>○「～になると」 「～二、三日たつと」 の意味を理解させる。</p> <p>○ワークシートにとき を表す言葉を書き込 ませる。</p> <p>○読みの練習をする。 ○書き取りをする。</p>	<p>絵カード</p> <p>ワークシ ート</p> <p>漢字カード</p>
<p>終末 (5)</p>	<p>○学習のまとめをする。 学習の感想を話す。</p> <p>○次時の予告をする。</p>	<p>○がんばったところを 褒める。</p>	



### 日本語指導略案 6

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
D1	中国籍 来日 1 年 簡単な日常会話はできる	小学校 3 年生 2 人	わすれられないおくりもの (教育出版)

#### 1 目標

- 登場人物を確認し、「おくりもの」の意味を知る。(日本語)
- 今後の学習の見通しを持つ。(関心・意欲・態度)

#### 2 展開 (1/9)

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	○カレンダーワークをする。 ○口のたいそうをする。	○テンポよく発音させる。 【話す】	井上先生の 教材
展開 (25)	○自分が今までもらったおくりものについて紹介する。 ・ケーキ ・サッカーボール ・ゲーム ・手紙  ( ) から ( ) を もらいました。 ○登場人物について確認する。 ・あなぐま ・もぐら ・かえる ・きつね ・うさぎのおくさん	○誰からももらった贈り物なのかを含めて紹介しあう。 【話す・聞く】 ○ワークシートに書かせてから、発表させる。 【書く】 ○初めに知っている動物の名前を言わせる。 犬, ねこ, パンダ・・・ ○イラストをみながら、正確に発音させる。 【話す】	フラッシュ カード  ワークシ ート  フラッシュ カード
終末 (10)	○次の学習の見通しをもつ。 ○教科書をみながら、段落ごとに番号をふる。 ○挿絵を指さし、動物の名前を答える。	○一段下がっている個所に数字を書かせる。 ○どのようなお話なのか、次回に勉強することを伝え、学習の見通しを持たせる。 ○時間があれば 1～2 の場面の音読 (ルビふり) を行う。 【読む】	教科書

### 日本語指導略案 7

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
D2	簡単な日常会話はできるが、文章の読み取りはまだ難しい。 通級（取出し）	小学校 3年生	教育出版3年 「わすれられないおくりもの」

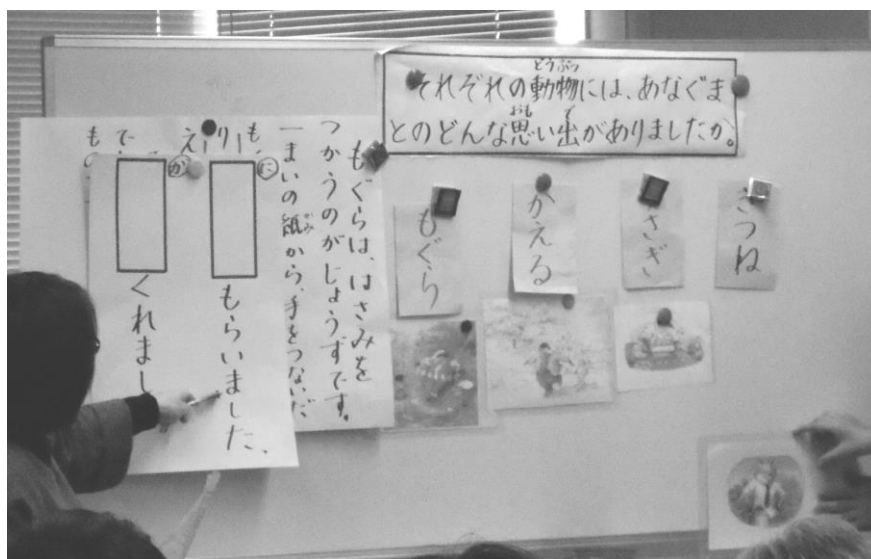
#### 1 目標

○動物たちがあなぐまからもらった「わすれられないおくりもの」について読み取る。（読む）

#### 2 展開（前時までに全文通読は終わっている。）

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	○前時の振り返りをする。 ・登場してきた動物を発表する。 ・もぐら ・かえる・きつね・うさぎ	○前時までの話を振り返り、登場人物を確認する。	絵カード 教科書
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>あなぐまと動物たちにはどんな「わすれられない思い出」があったでしょう。</p> </div>			
展開 (30)	○それぞれの動物にはあなぐまとのどんな思い出があるのか話してみよう。 ○絵カードを見て、どんな思い出があったのか話す。…絵カードを並べる。 ○リライト教材の中から見つける。 ・もぐら…切りぬき方は、あなぐまが教えてくれたものでした。 ・かえる…そばについてくれたのです。 ・きつね…あなぐまに教えてもらうまで、ネクタイのむすび方を教えてもらいました。 ・うさぎ…しょうがパンの焼き方を教えてくれたのです。	○「～てあげる」「～てくれる」「～てもらう」などの言い方を取り上げ、誰が誰のためにしたことなのか、整理させる。  ○キーワードの言葉が言えたらほめる。  ○キーワードの言葉を言えたら線を引く。	絵カード リライト教材

	<p>○話したことを文に書き、読む。 ・習った漢字を使う。</p>		<p>ワークシート 穴あき掲示物</p>
<p>終末 (10)</p>	<p>○学習のまとめをする。 ・あなぐまと動物たちには「わすれられない」思い出があることに気づかせる。</p>	<p>○思い出があなぐまからのおくりものであることに気づかせる。</p> <p>○目にみえないおくりものがあることも伝える。</p>	



### 日本語指導略案 8

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
E1	来日から1年、日常会話は問題ない。	小学校 2年生	「絵を見てお話を書こう」

#### 1 目標

○文章を読み、3枚の絵を見てわかることを話すことができる。

#### 2 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<p>○導入会話を行う。</p> <p>○カレンダーワーク、口の体操などを行う。</p> <p>○学習の見通しを持つ。</p>	<p>○楽しい気分で学習が始められるように支援する。</p>	カレンダー
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>絵を見てできごとを考えよう。</p> </div>			
展開 (30)	<p>○1枚目の絵を提示し、絵から想像できることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節は夏だと思うよ。</li> <li>・これはくじらかな？島かな？</li> <li>・木にはりんごができてるよ。</li> </ul> <p>○2枚目の絵を提示し、絵から想像できることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風が吹いているね。</li> <li>・りんごが2個落ちたよ。</li> </ul> <p>○3枚目の絵を提示し、絵から想像できることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虹が出ているね。</li> <li>・波が穏やかになったよ。</li> </ul>	<p>○絵を見せながら発問する。児童の想像が膨らむようにたくさん質問するようにする。</p> <p>○何があるか、天気や波の様子などに気付くように発問する。</p> <p>○前の絵と比べてどう変わったか考えられるようにする。</p> <p>○児童のつぶやきを拾いながら、板書していくようにする。</p>	教科書の挿絵を拡大したもの

<p>終末 (5)</p>	<p>○次時の見通しをもつ。</p>	<p>○次回は想像したことをもとに、作文メモを書くことを伝える。 ○児童の頑張りをほめるようにする。</p>	
-------------------	--------------------	--	--



### 日本語指導略案 9

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
E2	平仮名は書け、漢字はある程度書ける。 日常会話はできる。 短文が書ける。	小学校 2年生	「絵を見てお話を書こう」 文型・助詞を教えることを目的にする。

#### 1 目標（1/7時間目）

○文章を読み、3枚の絵を見てわかることを話すことができる。《国語》

○文章を読み、3枚の絵を見てわかることをメモすることができる。

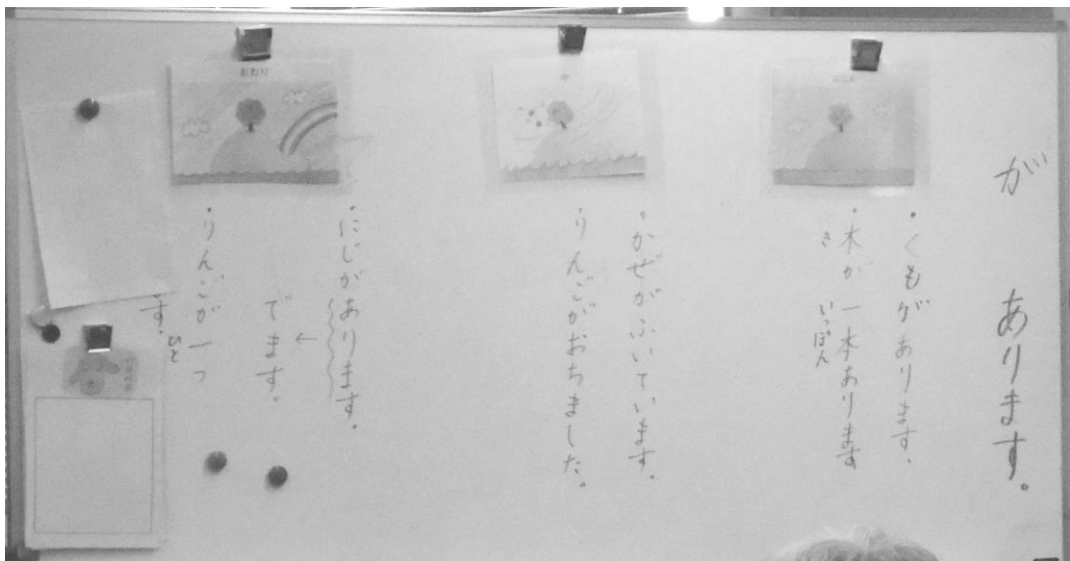
《日本語》

#### 2 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	○挨拶をする。 ○カレンダーワーク  ○口の体操	○元気にあいさつをさせる ○◇月○日、△曜日、天気について確認させる。 ○口を大きくはっきりと言わせる。	井上先生「口の体操19」
展開 (25)	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3枚の絵を見てお話を作ろう</span>  ○3枚の絵を見る。  ○例文を聞く <聞く>  ○はじめ、なか、おわりの3枚の絵からわかったことを話す。 (はじめ) ・木が一本あります。島があります。海があります。	○しっかりと今日のめあてをつかませる。 ○これからの学習は、話を想像して書くことを知らせる。  ○絵からどんなことがわかるかを促す。 ○わかったことを教師が黒板に書く。  ○絵をよく見て何があるかを促す（出てこないときは一緒に考える）。 ○どんな天気かについても聞く。	3枚の絵 書いた作品



	<p>(なか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風が吹いています。リンゴが落ちました。</li> </ul> <p>(おわり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虹があります。リンゴが一つあります。</li> </ul> <p>○ワークシートに話したことを書き込む。〈書く〉</p>	<p>○児童から出たことを板書しておく。</p> <p>○写し間違いがないように助言する。</p>	ワークシート
終末 (10)	<p>○学習のまとめをする。</p> <p>○ワークシートに書いたことを読む。〈読む〉</p> <p>○次時の予告をする</p>	<p>○慌てないでゆっくり読むように助言する。</p>	



### 日本語指導略案 10

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
F	サバイバル日本語は獲得し、教科によっては在籍学級で学習している。算数用語や数の仕組みを理解が十分ではない。	小学校 4年生 2人	算数 小数 導入で算数用語を確認

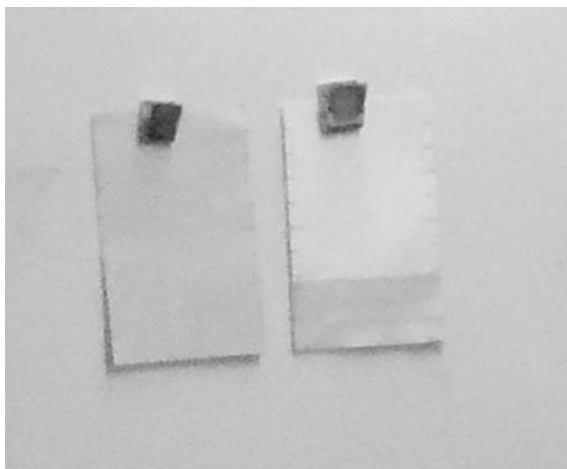
#### 1 目標

○1/100の位までの小数の書き方・読み方を知る。

#### 2 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	○前時の復習をする。	○絵を見ながら3年で学習した1/10までの小数を思い出す。 ○読み方を忘れていたら指導する。	教科書の絵 小数が書かれたカード
展開 (30)	○学習素材の提示 ・水とうに入る水の「かさ」をLで表しましょう。  ○学習問題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">0.1より小さい「はした」の大きさをどのように考えたらよいでしょう。</div> ○0.1を1/10にすればよいことに気付く。 ・1Lとちょっと。 ・1.3Lには少し足りない。 ・1.2Lとちょっと。  ○1.2Lとちょっとの「ちょっと」を考える。	○0.2Lと0.3Lの間の言い方 ○「かさ」の意味を確認する。→水の量 ○「L」(リットル)の読み方や意味を確認する。  ○「ちょっと」はどのようにして表すか考えさせる。 ○3年生のとき、1Lを1/10にしたことを思い出させる。 ○0.1を10個に分けたらよいことに気付かせる。	絵

	<p>○1の1/10を0.01と書くことを知る。</p> <p>○0.01は、「れいてん れいいち」と読むことを知る。</p> <p>○0.01Lの8個分の言い方を知る。</p> <p>0.08L (れい<sup>てん</sup>れい<sup>はち</sup>と読む)</p>	<p>○0.1の1/10は0.01であることを指導する。</p> <p>○声に出したり書いたりする時間を確保する。</p>	
<p>終末 (10)</p>	<p>○水とうに入る水の「かさ」を知る。</p> <p>1.2Lと0.08Lで1.28L</p> <p>(<sup>いちてん</sup>一点 <sup>にはち</sup>二八 リットルと読む)</p> <p>○練習問題をする。</p> <p>○学習のまとめをする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>0.1を1/10にして考えればよい。</p> </div>	<p>○まとめを2人で読む。</p>	



日本語指導略案 1 1

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
G	初期日本語	中学校 1年生	こどものにほんご① なつ休みのけいかく

1 目標

○自分のしたいことが言えるようになる。

2 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (5)	○始めの挨拶をする。 (今日の日付、曜日、天気を言う)	○明るく大きな声でありさつをして授業の雰囲気をつくる。	
展開 (40)	○例文を提示して聞き取る。 あしたからなつ休みです。 ハワイへいきたいです。 うみでおよぎたいです。 パンケーキをたべたいです。 イルカをみたいです。  ○動詞の復習をして今日のめあてを練習する。 たべます } いきます } およぎます } たい みます } あそびます }  ○繰り返して練習する。  ○練習問題に取り組む。  ○いくつか質問をして、 「はい、～たいです。」 「いいえ、～したくないです。」と答える。	○言葉がイメージをしやすいように資料を見せながら話す。 ○通訳が「～たい」の意味を教える。  ○カードを見せながら言葉を練習し文字と音の意識をさせる。 ○「～たい」の言葉の形を正しく読めるようにさせる。  ○声に出して繰り返し読むことにより日本語を定着させる。  ○間違えても大丈夫な雰囲気をつくる。	ハワイのパンフレット       カード

終末 (5)	○空欄に適語を埋めるワークシートに正しい答えを書き、今日の振り返りをする。	○努力したことを称賛し次回の授業に意欲につなげる。	ワークシート
-----------	---------------------------------------	---------------------------	--------



私は ハワイに行きたいです。

わたしは ( ) を たべたいです。

わたしは ( ) に 行きたいです。

わたしは ( ) ( ) 。

わたしは ( ) ( ) 。

わたしは ( ) ( ) 。

## 日本語指導略案 1 2

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
H	中 級	中学校 全学年	友達にぼうしをもらいました Japanese for young people

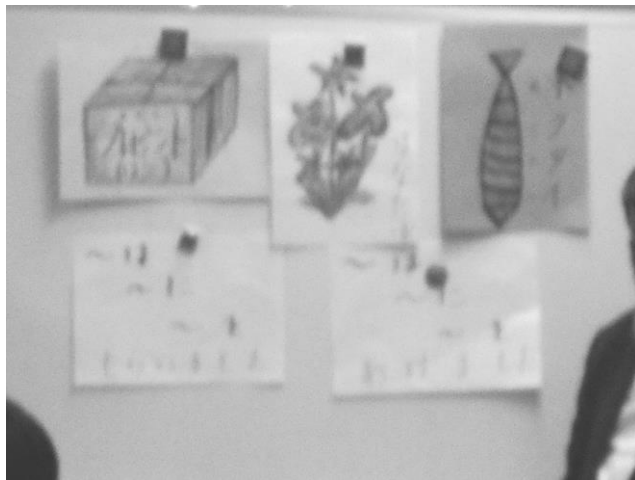
### 1 目標

○もらう、あげるの意味を理解して、練習する。

### 2 展開

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶をする。</li> <li>○カレンダーワークをする。</li> <li>○前の学習を振り返る。</li> <li>○プレゼントの意味を教える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大きな声で発表できるように確認をする。</li> <li>○プレゼントの意味が理解できるようにゼスチャーなどする。</li> </ul>	カレンダー
展開 (30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○カード、実物を使って、あげる、もらうの練習をする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・あげます（あげる）</li> <li>・もらいます（もらう）</li> </ul> </li> <li>○誰が何をあげるの練習をする。</li> <li>○次に、誰が何をもらうの練習をする。</li> <li>○現在形と過去形で練習をする。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～に」「～を」を、矢印を使って練習する</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味、関心を持たせる。</li> <li>○指示通りの動作ができているか確認する。</li> <li>○プレゼントを使って現在形で、教師と、生徒同士の練習を支援する。</li> </ul>	カード  プレゼントの実物（箱、ネクタイ、花束、ネクタイ等）
終末 (10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のまとめ、学習内容の確認をする。</li> <li>○感想を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今日の学習で学んだ事を、正確に聞き取りができているか確認する。</li> </ul>	振り返りカード

<p>○評価、振り返りカードを書く。</p> <p>○次の学習について話す。</p> <p>○終わりの挨拶をする。</p>		
---	--	--



### 日本語指導略案 13

グループ	日本語力	対象	教材及び課題
I	小6で中国より来日。日常会話はできる。 漢字は小2のレベルはほぼ書けるが、学習意欲が低い。	中学校 1年生	『電子レンジの発想』（教育出版1年）説明文 ※教科書の本文は正しく読めないが、教科書の内容を扱いつつ、生徒の発話を促すように授業展開する。

#### 1 目標

○電子レンジを例にとり、身のまわりの便利なものを言ったり書いたりする。

#### 2 展開（本時は1時間目）

過程	学習活動	教師の支援	資料・教具
導入 (10)	○カレンダーワーク ○『くちのたいそう』46「一週間」を練習する。 ○『くちのたいそう』6、10を練習する。 ○「これ何だ？」クイズをする。	○楽しく行う。 ○「ひなたぼっこ」等、な行、ら行が正しく発音できなかったので、繰り返し練習する。 ○「でんしレンジ」の発音を正しく言えるようにする。	カレンダー 『くちのたいそう』（井上恵子著） 電子レンジの絵
展開 (30)	○p138の内容に関して、絵を使って説明したり、体験したりする。 ○電子レンジのしくみについて、知っていることを聞き、次回の授業につなげる。 ○身のまわりの便利なものを言ったり書いたりする。	○絵や音を活用しながら、電子レンジを楽しく体験させる。 ○炊飯器・掃除機等、ブレット（ICT）活用しながら絵と言葉を確認する。 ○中国語でも言わせて、生徒の意欲を高める。	電子レンジの絵 カップの牛乳の絵 タイマー ICT ワークシート



<p>終末 (10)</p>	<p>○教科書の音読を行い、分からない漢字にかなをふらせる。 ○次回の授業で漢字の読みや言葉の意味を確認するように伝える。</p>	<p>○鉛筆でかなをふらせる。</p>	<p>教科書</p>
--------------------	---	---------------------	------------

